

III 資料

東日本大震災での被災者支援における男女共同参画の状況調査票

宮城県共同参画社会推進課

<記入上の注意>

- ・集計の関係上、選択方式の設問の場合、回答欄に〇ではなく算用数字の「1」をご記入ください。
- ・東日本大震災について、本調査では「大震災」と表記しています。

I 防災分野における男女共同参画の推進状況

1 防災関係委員会等への女性委員の登用状況について

- (1) 大震災発生後に設置した災害対策本部等での女性委員の登用状況について、下欄に人数をご記入ください。また、女性委員を登用している場合は、選出区分(〇〇課長等)をお書きください。
 【選出区分記載例】地域女性団体の長、市〇〇課長、中学校校長、学識経験者、等(以下の問も同じ)

災害対策本部等の名称	男性	女性	合計	女性委員選出区分

- (2) 大震災前と後の防災会議での女性委員の登用状況について、下欄に人数をご記入ください。

	男性	女性	合計
大震災前の防災会議			
大震災後の防災会議			

付問1 大震災後に女性委員を増やした場合は、その変更の時期と理由をお書きください。

変更 年月日	変更した 理由

- (3) 震災復興計画の策定に向けた審議会等での女性委員の登用状況について、下欄に人数をご記入ください。また、女性委員を登用している場合は、選出区分(〇〇課長等)をお書きください。

復興計画の策定に向けた審議会等の名称	男性	女性	合計	女性委員選出区分

2 男女共同参画の視点に配慮した避難所運営マニュアルの策定状況

- (1) 災害時における「避難所運営マニュアル」を策定していましたか。当てはまる記号の回答欄に1をご記入ください。

ア	大震災前に策定していた。	→	<策定年月日>
イ	大震災前に策定していたが、大震災後改定した(または、改定作業中、改定を計画している)。	→	* 改定の内容についてご記入ください。
ウ	大震災前に策定していなかった。現在、策定中あるいは策定を計画・検討中である。		
エ	大震災前に策定していなかった。今後も策定を予定していない。		

※ウ、エを選択した場合は、3にお進みください。

付問1 “ア”または“イ”と回答した場合、その中に男女共同参画の視点に配慮した記載はありましたか(あるいは記載予定ですか)。当てはまる方に1をご記入ください。

(回答欄)

男女共同参画の視点に配慮した記載が、ある(または記載予定)	
男女共同参画の視点に配慮した記載が、ない	

付問2 記載が「ある」と回答した場合、その記載内容について当てはまる項目の回答欄に1をご記入ください。(複数回答可)

No.	男女共同参画の視点に配慮した記載内容	回答欄
1	避難所の運営体制への女性の参画	
2	女性用物資(下着や生理用品等)の女性による配布	
3	意見箱などニーズ等を拾い上げる工夫	
4	妊産婦への配慮(妊産婦の栄養摂取や健康管理の窓口の設置等)	
5	性別による固定的役割分担意識による負担を防ぐための注意喚起事項等(個人の意思にかかわらず、女性だけが食事づくり、力仕事は男のみ等々にならないような工夫等)	
6	プライバシーの確保(間仕切り)	
7	男女別更衣室	
8	男女別トイレ	
9	女性専用の物干し場	
10	授乳室の設置	
11	託児所の設置	
12	乳幼児のいる家庭や障害者、要介護者のいる家庭を配慮した部屋割りやエリアの設定	
13	トイレの安全な場所への設置	
14	被害回避を喚起する掲示物や広報活動の工夫(夜間に一人でトイレに行かない等)	
15	男性がストレスから暴力を家族に向けないようなDV防止策	
16	女性(含:女性ボランティア)や子どもを暴力や性被害から守るための取組(避難所の警備、夜間巡回ほか)	
17	性別や子育て家庭、障害者等、多様な人々のニーズに配慮した災害用備蓄物資について	
18	ペット対策	

付問3 避難所運営マニュアルを策定していた自治体(問2で“ア”または“イ”と回答)にお聞きます。マニュアルの作成過程において、女性や災害時要援護者等様々なニーズを把握するために行ったことについて、下記から選び1をご記入ください。(複数選択可)

(回答欄)

1	各担当部局への意見聴取	
2	男女共同参画部局との連携	
3	女性や災害時要援護者、関係者などへの個別のヒアリング	
4	パブリックコメント	
5	その他	

※5(その他)を選んだ場合、下欄に具体的にお書きください。

--

3 災害用物資の備蓄状況

(1) 災害用備蓄物資と大震災時(発災から3日間)の充足度についてお聞きます。当てはまるものに1をご記入ください。

(回答欄)

ア	備蓄しており、ほぼ充足していた。	
イ	備蓄していたが、被災者が多数のため1~2日間しかもたなかった。	
ウ	備蓄していたが、ほとんど不足していた。	
エ	備蓄していなかったが、他市町村との連携備蓄や企業等との災害協定を行っており、ほぼ充足できた。	
オ	備蓄していなかった。	
カ	その他	

※“カ”を選択した場合、その状況について下欄にご記入ください。

--

(2) 性別や子育て家庭、障害者等、多様な人々のニーズに配慮した災害用備蓄物資についてお聞きます。大震災前に備蓄していた物資と大震災後に備蓄(又は備蓄予定)の物資について、常時備蓄物資に1を、連携備蓄や災害協定による流通備蓄物資には2をご記入ください。

No.	項目	震災前	震災後	No.	項目	震災前	震災後
1	簡単な間仕切り(段ボール等)			14	粉ミルク		
2	プライバシーを保てる間仕切り			15	哺乳瓶		
3	仮設トイレ(和式)			16	哺乳瓶用消毒薬		
4	仮設トイレ(洋式)			17	小児用おむつ		
5	簡易トイレ			18	おしりふき		
6	防犯ブザー・ホイッスル			19	離乳食		
7	下着			20	スプーン		
8	生理用品			21	ベビーバス		
9	おりもの用ライナー			22	成人用おむつ		
10	尿漏れパッド			23	介護食		
11	ハンドクリーム			24	成人病用対応食		
12	リップクリーム			25	アレルギー対応食		
13	化粧品			26	その他		

* 26 の「その他」を選択した場合、下欄に具体的にご記入ください。

--

付問1 多様な人々のニーズに配慮した備蓄物資について、今後、備蓄予定の物資があれば下欄にお書きください。

--

II 行政としての組織的な対応

1 大震災時、男女共同参画の視点で、被災者や避難所運営におけるニーズや課題を把握したり、情報を共有したりしましたか。当てはまる方に1をご記入ください。

(回答欄)

実施した	
特に実施しなかった	

付問1 実施した場合は、いつ頃から、どのような方法で実施したかをご記入ください。

いつ頃	
方法	

2 被災者支援や避難所運営において、男女共同参画の視点での対応ができましたか。また、発災後いつ頃から、主にどの課と連携して対応ができましたか。当てはまる内容に1を記入し、「いつ頃」「連携した部署」をご記入ください。

(いつ頃から)

(連携した部署)

ア	ある程度できた		→		
イ	一部だけができた		→		
ウ	ほぼできなかった		→		
エ	その他		→	具体的にご記入ください。	

付問1 “ア”“イ”を選んだ場合、男女共同参画の視点で行った対応について下欄にご記入ください。

--

3 大震災時、県が送付した内閣府男女局から出された文書(避難所での問題点等への注意喚起)について把握していましたか。

(回答欄)

把握していた	
把握していない	

付問1 “把握していた”と回答した場合、内閣府からの文書を被災者支援や避難所運営にどのように生かしましたか。下欄にお書きください。

--

4 相談窓口

(1)被災者支援の一環として、女性のための相談窓口を開設しましたか。

(回答欄)

開設した	
開設していない	

(2)国や県が開設した女性のための相談窓口や相談サービスの周知を図りましたか。

(回答欄)

周知を図った	
特に周知しなかった	

・DV相談ナビ
 ・パープルダイヤル
 ・みやぎ男女共同参画相談室
 ・東日本大震災心のホットライン ほか

付問1 周知した場合は、いつ頃、どのような方法で図ったか、下欄にご記入ください。

いつ頃	
方法	

5 災害現場や避難所生活における女性や子どもへの暴力を防ぐための取組を行いましたか。

(回答欄)

取組を行った	
特に行わなかった	

付問1 取組を行った場合、いつ頃からどのような方法で行ったかご記入ください。

いつ頃	
方法	

6 災害現場や避難所生活において、障害者や高齢者、外国人、性的マイノリティに配慮した取組があれば、ご記入ください。

--

- 7 避難所生活において男女共同参画の視点による運営や対応をする上で、官官、官民等、連携した例があれば、ご記入ください。

EX: 男女共同参画の視点を持った NPO・NGO・ボランティアとの連携、地域の医療機関、女性警官による悩み相談サービス等

- 8 行政では対応が難しい分野において、民間団体等の支援活動が効果的に行われた例があれば、ご記入ください。

- 9 仮設住宅の運営において、男女共同参画の視点で配慮したこと(または、配慮していること)があれば、お聞かせください。

- 10 今回のような大災害時に男女共同参画の視点に立った対応をするために、重要だと考えることや今後進めていきたい取組があれば、お聞かせください。

「東日本大震災での被災者支援における男女共同参画の状況調査」集計結果

※調査対象：宮城県内 35 市町村 回収率 100%

※調査時期：平成 24 年 6 月中旬～7 月上旬

1 防災・復興分野における男女共同参画の状況について

(1) 大震災発生後に設置した災害対策本部等での女性委員の登用状況

	男性(人)	女性(人)	合計(人)	登用率
災害対策本部等	745	32	777	4.1%

※沿岸・内陸部別災害対策本部設置及び女性委員登用市町村数

	設置市町村数	女性委員登用市町村数
沿岸部	15	6
内陸部	20	12
計	35	18

※女性委員登用市町村率 51.4%

(2) 大震災前と後の防災会議での女性委員の登用状況

	男性	女性	合計	登用率
大震災前の防災会議	880	22	902	2.4%
大震災後の防災会議	873	40	913	4.4%

□ 震災後に女性委員増の理由：「地域防災計画の見直しに当たり、新たに委員を委嘱したことによる」「女性の視点からの審議の必要から」「人権擁護委員が女性であったことによる」「構成員の見直し」「女性管理職の増員」

※沿岸・内陸部別女性委員登用市町村数

	大震災前 女性委員登用	大震災後 女性委員登用
沿岸部	1	3
内陸部	8	9
計	9 (25.7%)	12 (34.3%)

(3) 震災復興計画の策定に向けた審議会等での女性委員の登用状況

	男性	女性	合計	登用率
復興計画の策定に向けた審議会等	360	53	413	12.8%

※沿岸・内陸部別復興計画策定審議会設置及び女性委員登用市町村数

	復興計画策定に向けた審議会等 設置市町村数	女性委員登用
沿岸部(15市町)	15	12
内陸部(20市町村)	5	5
計	20	17(85%)

2 男女共同参画の視点に配慮した避難所マニュアルの策定について

(1) 災害時における「避難所運営マニュアル」の策定状況

沿岸部 内陸部

	沿岸部	内陸部
大震災前に策定していた。	10	5
大震災前に策定していたが、大震災後改定した（または、改定作業中、改定を計画している）。	3	2
大震災前に策定していなかった。現在、策定中あるいは策定を計画・検討中である。	19	12
大震災前に策定していなかった。今後も策定を予定していない。	3	2

(2) 男女共同参画の視点に配慮した記載

避難所運営マニュアルを「大震災前に策定」「大震災後改定（または計画・改定作業中）」の13市町のうち、男女共同参画の視点に配慮した記載があったのは7市町（5市2町）。

<記載内容>

(記載市町村数)

1	<ul style="list-style-type: none"> 「乳幼児のいる家庭や障害者、要介護者のいる家庭を配慮した部屋割りやエリアの設定」 「ペット対策」 	5
2	<ul style="list-style-type: none"> 「妊産婦への配慮」 「プライバシーの確保(間仕切り)」 	4
3	<ul style="list-style-type: none"> 「避難所の運営体制への女性の参画」 「女性（女性ボランティアを含む）や子どもを暴力や性被害から守るための取組（避難所内の警備、夜間巡回ほか）」 	3
4	<ul style="list-style-type: none"> 「意見箱などニーズ等を拾い上げる工夫」 「性別による固定的役割分担意識による負担を防ぐための注意喚起事項等」 「男女別トイレ」 「授乳室の設置」 「性別や子育て家庭、障害者等、多様な人々のニーズに配慮した災害用備蓄物資について」 	2
5	<ul style="list-style-type: none"> 「被害回避を喚起する掲示物や広報活動の工夫」 「男性がストレスから暴力を家族に向けないようなDV防止策」 	1

(3) マニュアルの作成過程において、女性や災害時要援護者等々様々なニーズを把握するために行ったことについて

- 避難所運営マニュアルを策定していた13市町のうち、ニーズを把握して作成したのは7市町、「各担当部局への意見聴取」を行っていた。併せて市民アンケートを実施していたのは、1市のみ。

3 災害用物資の備蓄状況

(1) 災害用備蓄物資と大震災時(発災から3日間)の充足度について

大震災時の充足度	市町村数	(沿岸)	(内陸)
備蓄しており、ほぼ充足していた。	4	(0)	(4)
備蓄していたが、被災者が多数のため1～2日間しかもたなかった。	5	(3)	(2)
備蓄していたが、ほとんど不足していたか、流失した。	20	(12)	(8)
備蓄していなかったが、他市町村との連携備蓄や企業等との災害協定を行っており、ほぼ充足できた。	4	(0)	(4)
備蓄していなかった。	2	(0)	(2)

(2) 大震災前と後の“性別や子育て家庭、障害者等、多様なニーズに配慮した災害用備蓄物資及び常時備蓄と連携・流通備蓄物資の状況”について

＜大震災前と大震災後の上位に挙げられた備蓄物資＞

No.	大震災前	市町村数			No.	大震災後	市町村数		
		計	常時	連携			計	常時	連携
1	簡易トイレ	23	20	3	1	生理用品	25	14	11
2	生理用品	15	4	11	2	小児用おむつ	23	12	11
	粉ミルク		4	11		成人用おむつ		10	13
	小児用おむつ		4	11	3	簡易トイレ	21	17	4
3	仮設トイレ(洋式)	7	7	おしりふき		8		13	
	哺乳瓶	14	4	10	4	粉ミルク	20	5	15
	成人用おむつ		4	10	5	仮設トイレ(洋式)	19	10	9
4	仮設トイレ(和式)	13	4	9		尿漏れパッド		6	13
5	おしりふき	12	3	9	6	下着	18	6	12
6	簡単な間仕切り	11	6	5		おりもの用ライナー		5	13
7	スプーン	10	2	8		哺乳瓶		4	14

8	下着	9	1	8	7	スプーン	17	4	14
	おりもの用ライナー		0	9		簡単な間仕切り		8	9
	尿漏れパッド		0	9		哺乳瓶用消毒薬		3	14
	哺乳瓶消毒薬		1	8		離乳食		3	14
	離乳食		1	8		介護食		3	14
	アレルギー対応食		2	7	8	プライバシーを保てる間仕切り	16	5	11

4 行政としての組織的な対応

(1) 被災者や避難所運営における男女共同参画の視点でのニーズや課題の把握・共有化の状況

	市町村数	(沿岸)	(内陸)
実施した	10	(6)	(4)
特に実施しなかった	25	(9)	(16)

< 実施した市町村の状況 >

時 期	市町村数	市 町 村 の 取 組
発災から1週間以内に対応	5	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所対応職員からの聞き取り、避難所におけるニーズ調査 ・避難所や在宅における健康調査アセスメント、保護課や避難所運営対策室へ情報提供 ・各避難所に女性職員を配置し随時連絡調整しニーズに対応、災害対策本部会議で情報共有 ・保健師等を通して意見・要望等の聴取 ・現地の要望聞き取り
H23年3月	1	避難所ごとの運営会議での情報共有
H23.4～5月	3	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者支援委託事業で雇用した「相談員」を派遣し、男女共同参画の視点も含めて様々な角度から問題を把握 ・必要な物資を一人ひとり用紙に記入してもらい、提供 ・他市からの避難者受入に際し、行政・設置地域・協力者等で話し合いを実施。避難所開設後は、避難生活者を含めて協議する場を設定
H24.2月	1	各課対応状況調査を実施し把握

(2) 被災者支援や避難所運営での男女共同参画の視点での対応状況及び庁内での連携状況

	市町村数	(沿岸)	(内陸)
ある程度できた	8	(4)	(4)
一部だけできた	12	(8)	(4)
ほぼできなかった	15	(3)	(12)
その他	0	(0)	(0)

(3) 大震災時、県が送付した内閣府男女局から出された文書（避難所での問題点等への注意喚起）の把握状況

	市町村数	(沿岸)	(内陸)
把握していた	8	(6)	(2)
把握していない	27	(9)	(18)

(4) 相談窓口

① 被災者支援の一環としての、女性のための相談窓口の開設状況

	市町村数	(沿岸)	(内陸)
開設した	4	(3)	(1)
開設していない	31	(12)	(19)

② 国や県が開設した女性のための相談窓口や相談サービスの周知状況

	市町村数	(沿岸)	(内陸)
周知を図った	23	(14)	(9)
特に周知しなかった	12	(1)	(11)

(5) 災害現場や避難所生活における女性や子どもへの暴力を防ぐための取組状況

	市町村数	(沿岸)	(内陸)
取組を行った	6	(5)	(1)
特に行わなかった	29	(10)	(19)

< 取組内容 >

<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の安全確保のため当番制などにより誰かが起きていた。 ・夜間のトイレ利用に関する注意喚起 ・警察への夜間巡回の強化依頼、夜間警備の委託 ・女性（避難所対応職員を含む）や子どもへホイッスル（防犯笛）を配布するとともに、それを周知するポスターを掲示 ・保健師の訪問等、各避難所へチラシを掲示、広報誌へ掲載、仮設住宅内集会所へ備え付けなど ・ボランティアセンターに依頼し、避難所へ子どもの遊びのボランティアを配置してもらった ・警備員の配置 ・保健師を配置 ・相談員がほぼ毎日ほとんどの避難所を訪問することで、男女共同に関する問題が起こらないように、常に変化がないか調査していた。
